

身近なニュース・情報、お寄せください

編集局報道部 022(211)1127 FAX 022(224)7947
 【総支局】
 石巻 石巻市千石町 0225(96)6700 FAX 0225(21)1668
 気仙沼 気仙沼市田中前4丁目 0226(22)6622 FAX 0226(23)6780
 大崎 大崎市古川駅前大通 0229(22)0066 FAX 0229(22)0253

泉 仙台市泉区明通3丁目 022(373)6000
 多賀城 多賀城市中央3丁目 022(361)5180
 塩釜 塩釜市北浜1丁目 022(367)1331
 南三陸 南三陸町志津川沼田 0226(47)4733
 登米 登米市迫町佐沼 0220(22)3172
 若柳 栗原市若柳川南南大通 0228(32)5371
 栗原 栗原市築館薬師 0228(22)3163

藻類培養粉末販売へ

石巻・ベンチャー施設開所

微細藻類の製造・販売工場など延べ床面積2.6を手掛ける石巻市のベンチャー企業「スメープジヤパン」が同市十八成浜に、このうち8人を地元で整備した藻類培養施設「清崎モラルファーム」の開所式が2日、現地であった。

市有地を借り、コンクリート製の水槽7基と加えて、海水を循環させた水槽で、光合成を促すことで藻類「ナンクロロプシ」を培養し、遠心分離



石巻市十八成浜に完成した藻類培養施設

津波の爪痕が残る被災地で元気に体を動かす子どもたち
 11月2日午前6時50分ごろ、山元町のJR山下駅前

に、坂根守行政区長は「そろそろ真夏の青空の下で体を楽しまたい」と願う。

器で濃縮後に粉末を抽出する。年間16トンの生産を目指す。
 エイコサペンタエン酸(EPA)を含む粉末は健康食品に適しているとされ、販売先の企業を開拓している。油分が多い藻類の性質を生かし、バイオディーゼル燃料の美用化を進める。

開所式には関係者約50人が出席。原芳道社長は「石巻で雇用の機会をつくり、若い人に新事業の可能性を伝える。地元の子どもたちには海を大切にすることを教えた」と述べた。

みやぎ県南中核病院 がん治療施設完成

仙南初

みやぎ県南中核病院(大河原町)に増築していた救命救急センターと、がん治療を担う腫瘍センターが入る病棟が完成し、同病院で2日、記念式典があった。がん治療をする施設は仙南地域で初めてで、1日に利用を開始した。
 新病棟は病院北側に増設。鉄筋2階の耐震構造で、最新鋭の機器を備えた放射線治療室や、高度な診療ができる救急処置室がある。建設工事は昨年2月に始まり、救命救急センターは12月から稼働している。
 式典には内藤広郎院長や自治体、病院の関係者約50人が参加。伊勢敏大河原町長は「救命救急」とあいさつした。
 総工事費は15億2950万円。県の地域医療再生事業補助金6億4648万円を活用したほか、残りは病院が開設する角田、大河原、村田、柴田の4市町が負担した。



3日から一般公開されるスマトラトラの赤ちゃんとお母さん

スマトラトラ赤ちゃん

仙台市太白区の八木山動物公園は2日、国内で16年ぶりに繁殖に成功したスマトラトラの赤ちゃん4頭を報道陣に公開した。カメラの放列に驚いた様子を見せた4頭は、電音気に構わらずに

八木山動物

重7kgの大きさに成れぎみだった1頭もまで育ち、3頭と一ることになった。飼育展示課の阿部



最新鋭の放射線照射機の説明をする内藤院長(左から2人目)